

2024年8月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第21号(通算3403号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に^{たいせつ}する神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ

聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい

第14主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 ローマの信徒への手紙 7章 6節

賛美歌 21-481番「救いの主イエスの」(©著作権消滅)

聖書 ヨハネによる福音書 8章 1-11節

お祈り

賛美歌 21-444番「気づかせてください」(©教団出版局)

メッセージ 「何が罪か、法より大切なもの」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-423番「人がこの世界に」(©JASRAC)

主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

今は、私たちは、自分を縛っていた律法に対して死んだ者となり、律法から解放されました。その結果、古い文字によってではなく、新しい霊によって仕えるようになったのです。

聖書 ヨハネによる福音書 8章 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

[¹ イエスはオリーブ山へ行かれた。

² 朝早く、再び神殿の境内^{けいだい}に入られると、民衆が皆、御もと^みに寄って来たので、座って教え始められた。

³ そこへ、律法学者たちやファリサイ派の人々が、姦淫の現場で捕らえられた女を連れて来て、真ん中に立たせ、⁴ イエスに言った。「先生、この女は姦淫をしているときに捕まりました。⁵ こういう女は石で打ち殺せと、モーセは律法の中で命じています (*)。ところで、あなたはどうかお考えになりますか。」⁶ イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみ込み、指で地面に何か書いておられた。⁷ しかし、彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」⁸ そしてまた、身をかがめて地面に書き続けられた。⁹ これを聞いた者は、年長者から始まって、一人また一人と立ち去ってゆき、イエス独り、真ん中にいた女が残った。¹⁰ イエスは、身を起こして言われた。「女よ、あの人たちはどこにいるのか。誰もあなたを罪に定めなかったのか。」¹¹ 女が、「主よ、誰も」と言うと、イエスは言われた。「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはいけません。』」

(*レビ記 20:10 「人が他の人の妻と姦淫するなら、すなわち隣人の妻と姦淫するなら、姦淫した男も女も必ず死ななければならない。』

申命記 22:22-24 「²² ある人が夫のいる女と寝ているのを見つけられたならば、その女と寝た男もその女も、二人とも死ななければならない。こうしてあなたは、イスラエルの中から悪を取り除きなさい。²³ ある男と婚約した処女の娘がいて、別の男が町の中で彼女に目をつけ、彼女と寝たならば、²⁴ 二人を町の門のところに引き出し、石で打ちなさい。彼らは死ななければならない。町の中で娘が助けを求めて叫ばず、男は隣人の妻を辱めたからである。あなたはこうして、あなたの中から悪を取り除きなさい。』

《先週のメッセージより》2024年8月11日

「なにか違う」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 7章40-52節

「違和感」という言葉は、辞書によると「自身の感覚や認識と現実の状況が一致しない時に生じる心理的な不快感」などと説明されている。そんな「違和感」を感じる瞬間はあるだろうか。仮庵祭に、イエス・キリストは人目を避けて上って行かれた。ユダヤ人が殺そうと狙っていたからだ。イエスも初めは、私はこの祭りには上って行かないと突っぱねていた。しかしその後イエスが仮庵祭に身の危険を冒して行ったのは、やはり今こそ公然と福音を語っていかねばという気持ちになったからかもしれない。仮庵祭でも、イエスの噂はいろいろとささやかれていたが、ユダヤ教の指導者たちを恐れて誰も公然とイエスについての議論はできなかった。だからイエスは神殿の境内で語り始められた。世の行っている業は何かおかしいと。

このイエスの姿は人々の心を動かし始めたが、イエスのことを疑う者もいた。ユダヤ教の祭司長やファリサイ派の人々だ。彼らはイエス逮捕のために送った下役たちが手ぶらで戻って来ると叱り、下役たちをかばうニコデモにも「あなたもガリラヤ出身なのか。よく調べてみなさい」と偉そうに話している。彼らは聖書をよく知っているだけに、無知な皆は惑わされているのだと思い込んでいる。しかし対照的に「無知」な下役たちは、イエスと出会い、変化を見せている。下役たちは本来、イエスを捕らえて来ればよいだけだった。しかし彼らはあえてイエスを捕らえず、それを正直に報告したのだ。彼らは「違和感」を感じたのではないか。イエスを前にした自分たちには、彼を捕らえることが何か違う気がしたのだと。その命令違反は、大変勇気のいる行為だったろうが、しかし同時に、下役たちにとっては、非常に新鮮な、人間性の回復の第一歩でもあったろう。彼らのそんな「違和感」と「変化」を理解できたのは、イエスと出会ったことのあるニコデモだけだった。

私たちも、キリストとの生きた出会いによって変えられてゆく。そのために、聖書の1つ1つの物語を「私の物語」として読んでゆきたい。そこでイエスが語った言葉を「私にかけられた言葉」として受け取ってゆきたい。そうやって、常にキリストの言葉——キリストが他でもない私に向けて語ってくださった言葉——に耳を傾けながら、日々いろんな瞬間に感じる「なにかちがう」という違和感を大事にして、イエスを捕らえなかった下役たちのように変えられてゆきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 8月11日

礼拝出席 大人5名 献金 大人4,000円 中継視聴者数21回 感謝

◎次週 2024年8月25日(日) 聖霊降臨節第15主日礼拝

招きの詞 詩編 98編 1-3節

聖書 エフェソの信徒への手紙 5章 11-20節

メッセージ 「酒に酔い『痴れ』るな」水谷憲牧師

賛美歌 21-211番(©JASRAC)、21-503番(©教団)、21-422番(©教団)

礼拝の中で、8月までにお生まれの方の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行って、釜ヶ崎・いこい食堂にて皆様にお配りいたします。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・8月1日(木)~25日(日)にかけて、高石教会にて、平和月間特別写真展「川の記憶 ~ヒロシマ 今も忘れない~」が開催されています。入場料は無料で、どなたでもご鑑賞いただけます。開館日時は木・金・土曜日の9時から17時までで、8月16・17日は閉館です。高石教会のウェブサイトは右のQRコード。



- ・8月31日(土)13時半~16時にかけて、日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス(京都市)にて、2024年度修学院フォーラム「いのち」第1回「成錫憲(ハム・ソクホン)のシアル(民)思想が問いかける非暴力平和運動」が開催されます。講師は朴賢淑(パク・ヒョンス)さん(大阪女学院大学・短期大学准教授)です。会場での対面参加の他にもZOOMを利用したオンライン参加も可能です。参加費は、対面参加・オンライン参加共に2,000円です(学生は500円)。申し込み・詳細は下記のQRコードより。

申し込みの

べ切は28日(水)です。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/25	水谷憲牧師	誕生者祝福式
9/1	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会
9/8	水谷憲牧師	
9/15	牛田匡牧師	敬老の日礼拝

日本クリスチャンアカデミー
関西セミナーハウス活動センター

2024年度 修学院フォーラム「いのち」第1回

シリーズ「戦争と平和」

**成錫憲(ハムソクホン)のシアル(民)思想が
問いかける非暴力平和運動** 会場とZoom

講師 朴賢淑 (大阪女学院大学・短期大学准教授)

世界各地に戦争が広がっている中、平和に暮らしていた日々が懐かしく感じる今日この頃です。今後、東北アジアも同盟国との関係の中で、物資の供給など戦争と関わっていくことでしょう。その中で、韓国のガンジーと呼ばれる成錫憲のシアル(民)思想を通して、その非暴力運動が見出されるまで、その師であった内村鑑三の非戦論とガンジーの非暴力運動、そして、その後に関わるようになったクェーカーの平和運動との関わりを通して見出された成錫憲の非暴力平和運動は、韓国の民衆化運動でどのような役割を果たしたのか、また成錫憲のシアル思想はどのような平和的示唆を今日、私たちに与えているのかについて議論できる機会となれば幸いです。

日時 2024年8月31日(土)13:30~16:00

参加方法 関西セミナーハウス来場 または、リモート参加(Zoom)

参加費 来館/リモート共通 2,000円 学生500円 [リモートは送金(案内票面)]

◎講師は、会場で講演し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。
 [来館参加] 関西セミナーハウスの会場に集まり、講演を聞き、話し合いに参加します。
 [リモート参加] パソコンかスマートフォンなどを利用して、任意の場所でネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。締切後メールアドレスにてZoomの招待状をお送りします。

朴賢淑 ぱく ひよんす

韓国インチョン(仁川)生まれ。
大阪キリスト教短期大学神学部、関西学院大学神学部卒業。関西学院大学神学研究科博士課程満期退学。神学博士。主な研究分野は、実践神学、宣教学。現在、大阪女学院大学・短期大学准教授。在日大韓キリスト教会大阪北部教会所属。
著書：『成(ハム)錫(ソク)憲(ホン)におけるシアル思想の成立と展開』(2023年)、『民(シアル)の記憶から考える東北アジア』『福音と世界』(2023年8月号)、その他論文。

要申込み 8月28日(水)までにWEBフォーム、電子メール、電話、Fax等より裏面書式の内容でお申込みください。